

宇宙倫理学研究会の紹介

呉羽 真

宇宙総合学研究ユニット・特定研究員



「宇宙倫理学」って何？

- 宇宙倫理学研究会ウェブサイト (<http://www.usss.kyoto-u.ac.jp/research/spaceethics.html>)
によると……「人間と宇宙との関わりにおいて生じる様々な道徳的問題を検討する分野」。
 - 二つの側面：
 - (1) 宇宙開発利用の進展に伴って生じた新しい道徳的問題の解決を試みる。
 - (2) さらに、それを通して倫理学における従来の思考法の刷新を図る。
 - 例：環境倫理学
 - 宇宙を視野に入れることで……
資源の有限性という従来の前提が揺らぐ。
生態系の存在しない環境の道徳的地位という新しい問題が生じる。
 - → 「なぜ環境を保護すべきなのか？」が改めて根本的に問われる。

宇宙倫理学の諸問題 (1) (わりと) 現実的な問題

- 宇宙環境倫理の問題：「生態系のない地球外環境は破壊してもいいか?」、「地球外環境に微生物がいたら保護すべきか?」
- 宇宙生命倫理の問題：「宇宙飛行士/宇宙旅行者の生命と健康を守るために、宇宙飛行にどんな規制を課すべきか?」、「片道切符の火星旅行は認められるか?」
- 宇宙政治哲学の問題：「巨額の公的資金を投じて有人宇宙探査を推進すべきか?」
- 宇宙法哲学の問題：「地球外資源に関する私的所有権を認めるべきか?」

(2) SF的な問題

- 宇宙環境倫理の問題：「火星のテラフォーミングは道徳的に許されるか?」
- 宇宙生命倫理の問題：「地球外環境に適応できるように人体を改造することは道徳的に許されるか?」
- エイリアン倫理の問題：「もし地球外知性に遭遇したら、彼らをどう扱うべきか?」

(3) もっと気が遠くなる問題

- 宇宙実存哲学の問題：「いつか宇宙が終わるなら、生きる意味なんてあるのか?」



宇宙倫理学の研究状況

- 1980年代に登場して以来細々と進められてきたが……
- 2010年代になって幾つかの著作が出版され、本格化。
- 日本でも、2015年に「宇宙倫理学研究会」を設立。2016年末に、研究会メンバーの稲葉振一郎（明治学院大学）が『宇宙倫理学入門』（ナカニシヤ出版）を出版。



5

宇宙倫理学研究会の概要

- 主催：
 - **京都大学宇宙総合学研究ユニット**
 - 京都大学大学院文学研究科応用哲学・倫理学教育研究センター（CAPE）
- メンバー：
 - **伊勢田哲治（代表／文学研究科・宇宙ユニット）**／ **磯部洋明（総合生存学館・宇宙ユニット）**
 - 稲葉振一郎（明治学院大学）／ 大庭弘継（京都大学）／ 岡本慎平（尾道市立大学）
 - 神崎宣次（副代表／南山大学）／ **吳羽真（宇宙ユニット）**／ 近藤圭介（法学研究科）
 - 清水雄也（一橋大学）／ 杉原桂太（南山大学）／ 杉本俊介（大阪経済大学）
 - 玉澤春史（理学研究科）／ **水谷雅彦（文学研究科・宇宙ユニット）**／ 吉沢文武（工学院大学）
- 目標：論文集『**宇宙倫理学**』（昭和堂、2018年刊行予定）の出版！

宇宙倫理学研究会の主要な活動

- 例会（第1回～第5回）
 - 先行研究を調査・検討する**公開読書会**
- 特別企画
 - **講演会「Reimagining Icarus: Defining the Ethical and Legal Parameters for Human Space Exploration」** Dr. Sara M. Langston (Senmurv Consulting LLC)
 - **対談「宇宙の道と人の道——天文学者と倫理学者の対話」** 柴田一成氏（理学研究科），伊勢田哲治氏（文学研究科）
 - **ワークショップ「宇宙探査・開発の倫理学」** 青木滋之氏（会津大学），古田徹也氏（新潟大学）
- その他
 - STS学会第14回大会（2015）にて、セッション「**宇宙探査・開発の社会的意思決定に向けて**」を開催
 - JAXA特別資料『人文・社会科学研究活動報告集』（2016）に、報告「**宇宙倫理学の現状と展望**」を寄稿
 - 京都大学アカデミックデイ2016の座談会「**進撃の巨大科学**」に登壇
 - 応用哲学会第9回大会（2017）にて、ワークショップ「**科学の価値と社会におけるその位置づけ——八王子島マウナケア山におけるTMT建設計画から考える**」を開催（予定）

詳細は、研究会
ウェブサイトを参照

ついでに

京都大学SPIRITS学際型プロジェクト 「将来の宇宙開発に関する道徳的・社会的問題の総合的研究」

- 目標：今後数十年先までの宇宙開発に関する**倫理的・法的・社会的問題（ELSI）の検討**と、**社会調査の実施・分析**を通じて、社会的意思決定のための土台を構築する。

→ 倫理的考察を法・政治・社会と結び付ける。

3月にインタビュー調査を実施
現在、調査結果を分析中

- メンバー：

伊勢田哲治（文学研究科・宇宙ユニット） / **磯部洋明（総合生存学館・宇宙ユニット）**

大庭弘継（文学研究科） / 河村聡人（理学研究科） / **吳羽真（代表／宇宙ユニット）**

近藤圭介（法学研究科） / 白井哲哉（URA室） / 玉澤春史（理学研究科）

太郎丸博（文学研究科） / **中野不二男（宇宙ユニット）** / 藤田智博（文学研究科）

→ 哲学者・法学者・政治学者・社会学者・天文学者・科学技術ジャーナリストを含む学際的チーム。

京都大学SPIRITS学際型プロジェクト 「将来の宇宙開発に関する道徳的・社会的問題の総合的研究」

- ・ 目標：今後数十年先までの宇宙開発に関する倫理的・法的・社会的問題（ELSI）の検討と、社会調査の実施・分析を通じて、社会的意思決定のための土台を構築する。

→ 倫理的考察を法・政治・社会と結び付ける。先月インタビュー調査を実施
現在、調査結果を分析中

目標：
ELSIと社会調査に、科学コミュニケーション論を加えた、
「宇宙科学技術社会論（SSTS）」
という学際分野の創出。

→ 宇宙科学・宇宙技術と社会の望ましい関係を構想する

→ 哲学者・法学者・政治学者・社会学者・天文学者・科学技術ジャーナリストを含む学際的チーム。

終